



ハバナ国際見本市 ジャパンデー

2015年11月6日

11月6日、第33回ハバナ国際見本市（FIHAV2015）において、在キューバ日本国大使館（当館）と日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務所との共催により、ジャパン・デーを開催しました。

11月2日から7日まで、ハバナにおいて、第33回ハバナ国際見本市が開催されています。同見本市には、2008年以来、7年振りにジェトロ主催によりジャパンパビリオンが設置され、右見本市全体では日系企業9社が出展しています。

ジャパン・デーでは、出展日系企業によるプレゼンテーション、及びネットワーキングを目的としたキューバ政府・企業関係者等を招待してのカクテルパーティーが行われ、およそ70名が参加しました。

カクテルパーティーでは、冒頭、佐藤大使が、「日本製品は、長年にわたって多くのキューバ人に知られ、愛され、活用されており、こうした信頼関係をベースとして、今後両国の経済・ビジネス関係が飛躍的に拡大し、キューバの更なる発展に貢献することを心から望みます」旨述べ、また、イリアナ・ヌニェス・キューバ外国貿易・外国投資省次官が、「キューバには日系企業にとって魅力的な投資機会が用意されており、キューバの提供する新たな可能性を踏まえ、キューバ国内に対する投資計画への参加を検討頂きたい」旨発言し、日系企業に投資への参加を呼びかけました。



在キューバ日本国大使館
経済班

Tel. (53) 7204 3355

Fax. (53) 7204 8902

politico@hv.mofa.go.jp



①エルナンデス商工会議所会頭



②参加者



③企業プレゼンテーションの様子



④佐藤大使挨拶



⑤ヌニェス次官挨拶



⑥カクテル乾杯